

令和4年度 室蘭港大規模地震・津波総合防災訓練

国際拠点港湾「室蘭港」において、北海道胆振東部地震で被災者の支援活動を行った北陸地方整備局大型浚渫兼油回収船「白山」の参加協力を得て、三陸沖北部を震源とする大規模地震及びこれに伴う津波来襲を想定した大規模地震・津波総合防災訓練に参加しました。

- 日 時： 令和4年10月8日（土） 14：00～16：00
- 場 所： 室蘭港入江地区耐震強化岸壁
- 主 催： 国土交通省北海道開発局、室蘭開発建設部、室蘭市（港湾管理者）
- 協 力： 第一管区海上保安本部、室蘭海上保安部、陸上自衛隊 北部方面隊、北海道警察 札幌方面 室蘭警察署
室蘭市消防本部、（一社）日本埋立浚渫協会 北海道支部、（一社）日本海上起重技術協会
全国浚渫業協会 北海道支部、北海道港湾空港建設協会、（一社）日本潜水協会、（一社）海洋調査協会
（一社）港湾技術コンサルタント協会、北海道ポートエンジニアリング協会、
NPO法人北海道みなとの文化振興機構（北海道 港湾・空港・漁港 防災エキスパート）
- 出席者： 堀井学 衆議院議員、山岡達丸 衆議院議員、鈴木宗男 参議院議員 船橋利実 参議院議員（代理：船橋真典）
- 国 交 省： 北海道局 佐藤港政課長、北海道開発局 港湾空港部 鈴木部長、室蘭開発建設部 篠宮部長
- 訓練内容： 避難訓練、広域海上点検訓練、油回収訓練、被災状況調査訓練、油拡散訓練、港湾巡視訓練、航路啓開訓練
漂流者捜索・救助訓練、緊急支援物資輸送訓練
- 参加人数： 約120人 ・ ・ ・ 来賓等 約50人は外数

訓練開始前の参加者整列



訓練会場（入江地区耐震強化岸壁）



【開催挨拶】 青山室蘭市長



我が国をとりまく災害の状況は頻繁に発生していると言える。とりわけ、太平洋側は千島海溝沖、日本海溝沖といった地震も想定されており、日々災害への備えに取り組んでいかねばならない。

室蘭港は胆振東部地震の際には本州からの緊急支援物資の拠点として活躍した。

本日は訓練を実施して頂き、動作1つ1つを確認できる時間としたい。

【来賓挨拶】 堀井衆議院議員



海上保安庁、自衛隊、警察、消防、そして港に関わる各関係機関の皆様方が、こうして一堂に会して、有事の際に、どのように市民の安全、そして港湾を守っていくかということの確認のためにもなる訓練。

連携、密な連絡、相談、報告、こうしたことが、未然に被害を防ぐ、そしてさらに有事の際に、的確、迅速な行動につながるものと確信する。

【来賓挨拶】 山岡衆議院議員



「みなと」と共にこの街はあり、みなとの活力を持って、地域の暮らしや、経済、そして人々の心の支えにもなっている、そんな地域ではあるが、一方で全国様々な場所で起こっている大災害、この自然の脅威がある。

そうした中、室蘭としてもしっかりと日々の防災訓練を重ねて行くことが極めて重要であり、緊張感を持って訓練に臨ませていただく。

【来賓挨拶】 鈴木参議院議員



室蘭市を中心にさらに室蘭開発建設部が主体となり、海上保安部、さらには警察含め自衛隊、各機関が一致協力しての見事な連携、チームワークに心から敬意を表したい。

一番緊急性の高い地震津波は、千島海溝、日本海溝沖であり、このことを我々がもっともっと認識をして、広めていかなければいけない。

訓練会場（入江地区耐震強化岸壁）



①避難訓練



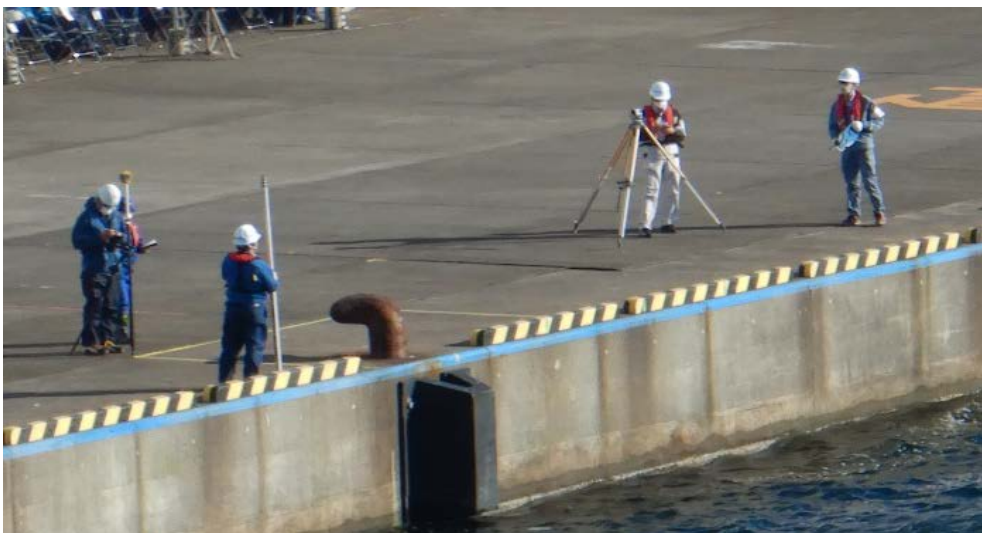
②広域海上点検訓練



③油回収訓練



④被災状況調査訓練(ドローンにより当協会参加)



⑤油拡散訓練



⑥港湾巡視訓練



⑦航路啓開訓練



⑧漂流者捜索・救助訓練



⑨緊急支援物資輸送訓練



【閉会講評】 鈴木港湾空港部長



非常時の対応については、当該地域における関係各機関の連携・協力がまず必要。

本日の訓練は、様々な連携、協力を必要とする対応について総合的に行ったもので、大変有意義。

先の大震災で対応にあたられた先人の「備えたことしか役に立たなかった」、「備えたことだけでは十分でなかった」という教訓や反省の言葉を真摯に受け止め、備えの充実に不断の努力を積み重ねなければならない。